

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

令和6年1月5日 VOL. 191

介護さわやか相談員と受入れ施設職員による意見交換会を開催

グループでの活発な意見交換

令和5年12月20日（水）藤枝市役所5階大会議室において、「介護さわやか相談員の資質向上と施設におけるサービスの質の向上を“ともに”考える」ことを目的に意見交換会を開催しました。介護さわやか相談員の訪問の受け入れをしている市内の介護サービス施設25カ所から、施設長や生活支援員、ケアマネジャー等17名が参加、介護さわやか相談員と合わせて27名が4つのグループに分かれ、「新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからの施設の変化・外部の受け入れ状況」「今後の感染症対策」について現状の共有や課題、工夫していることを話し合いました。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、施設内では、感染症に十分留意が必要であり、コロナ渦と大きな変化はないと話す事業所もありましたが、感染症対策をしながら施設外でのレクリエーションを開催したり、家族との面会や地域のボランティアの受け入れを再開することで、利用者・職員ともに笑顔が戻りつつあると感じると話す事業所もありました。



それぞれの施設での様子を共有し、参加者からは「コロナ対策も、施設により対応の仕方が違うことが分かった」「他の施設内での工夫を知ることができた」との声がかけられました。

参加者の感想

- ・他施設の取り組みについて、話が聞けて良かった。感染に気を付け、工夫することで、他施設が面会・外出が再開できていることに驚いた。
- ・利用者4～5人ずつで車内でのんびり話をしながらドライブに出かける。それだけでも利用者に喜んでいただけることが分かった。



「藤枝市介護さわやか相談員だより」を発行しました



藤枝市介護さわやか相談員連絡会は、介護さわやか相談員活動の報告とPRを目的に、広報誌を発行しました。令和5年度は、訪問先事業所での災害への備えについても掲載をしております。

広報誌は、市役所地域包括ケア推進課や地区交流センター等で配布しています。

